家庭科①　　教科書 p.50-53　　月　日

⑥物を生かして 住みやすく　ステップ1　身の回りや生活の場を見つめよう

学習のめあて　身の回りを気持ちのよい場所にするために必要な仕事を見つけよう。

1　教科書p.50の写真を見て，困ることはどんなことか見つけましょう。また，改善策を考え，気持ちのよい部屋にするためにどのようにしたらよいか，下の表にまとめましょう。（２つ）

困ること	改善策
例①本が散らばっていて、どこにどの本があるかわからない。 ② ③	例①本をたなに並べる。 ② ③

2　整理・整とんの意味を確認しましょう。

【整理】
【整とん】

やってみよう

3　整理・整とんの手順を確認し，使いやすくしましょう。

①　手順を確認しましょう。（　　）に当てはまる言葉を書きましょう。（P.５２～５３）

（　　）する →（　　）する →（　　）する →（　　）

場所	引き出しの中身		できあがり図（イラストか写真）	家の人から
机の引き出し	使う物（必要な物・よく使う物） ペン、はさみ、 2穴パンチ、はんこ	どうするか ペン・はんこ・・・箱にまとめる はさみ、パンチ・・・引き出しの手前にしまう	★ホームページの整理・整頓後のような写真を貼るか、絵を描いてください。 （写真のサイズが大きい場合は、表紙にホチキス止めをしてもかまいません）	
	使う物（あまり使わない物） 色鉛筆・プッシュボンド	どうするか 引き出しの奥にしまう		
	使わない物 使った後のふせんやメモ帳	どうするか 捨てる		

【工夫したこと・今後に生かしたいこと】

工夫したことは、ペンやはんこを小さい箱にまとめたことです。家の引き出しだけでなく、学校で使う道具箱の中も同じように箱を使って整理・整とんをしていきたいです。

ふり返ろう	◎ ○ △
整理・整とんの必要性が分かりましたか。	
身の回りを整理・整とんし，使いやすく工夫することができましたか。	